

(4) 権利意識・自己意識

① 自己に対する評価について

自分が好きかという問いに対して、子ども全体の24.9%が「好き」、44.5%が「だいたい好き」と回答し、あわせると肯定的な回答は69.4%であった。

しかし年齢別に見ると、小学生世代では「好き」が34.6%、「だいたい好き」が44.0%で78.6%が肯定的な回答をしているが、年齢があがるにしたがって「好き」の割合が減少し、中学生世代で「好き」が20.2%に落ち込み、高校生世代では14.8%にまで減少する。「好き」と「だいたい好き」をあわせた肯定的な回答の割合も、中学生世代で68.2%、高校生世代で55.2%に減少する。逆に、「あまり好きではない」「好きではない」という回答が年齢とともに増加する。

Q28 あなたは、自分が好きですか

図101 【子ども—全体】

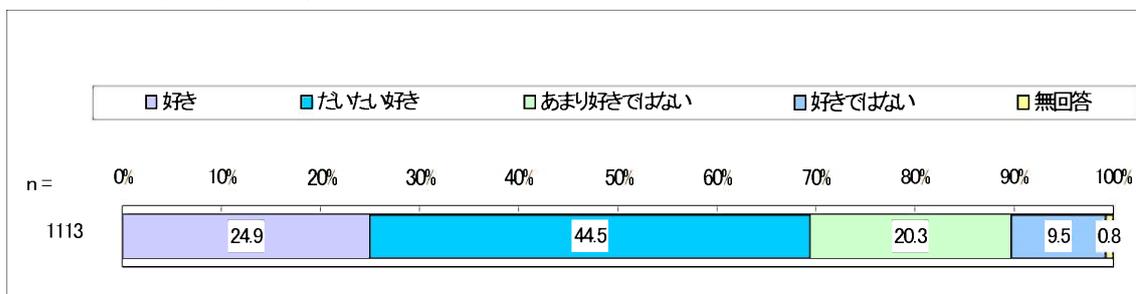
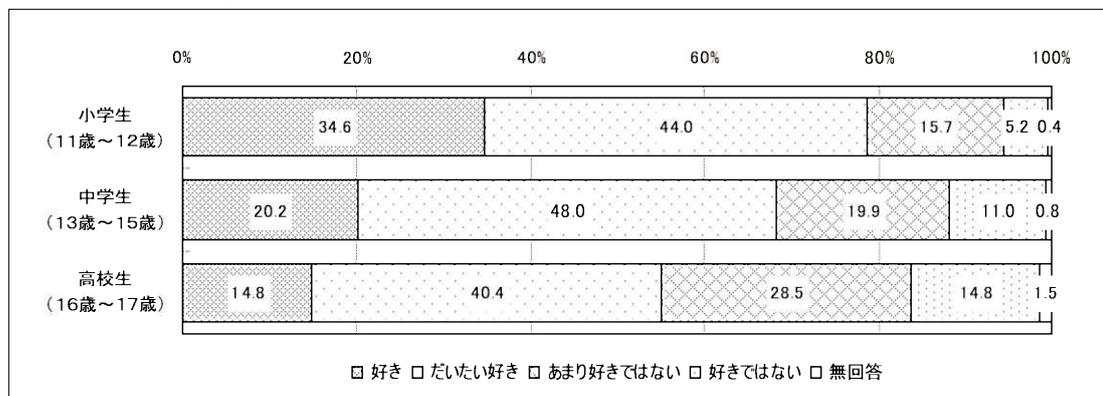


図102 【子ども—年齢別】



自分は何をやってもだめだと思うかという問いに対して、子ども全体では「あまりそう思わない」が48.2%、「そう思わない」21.9%で、あわせて70.1%が否定的な回答であったが、「そう思う」(7.3%)「だいたいそう思う」(21.7%)が29.0%あった。

年齢別に見ると、年齢があがるにしたがって「あまりそう思わない」「そう思わない」という回答の割合が減少し、「そう思う」「だいたいそう思う」の割合が増加する。小学生世代では「そう思う」(4.6%)「だいたいそう思う」(16.1%)という回答をあわせて20.7%であるが、中学生世代になると「そう思う」9.7%、「だいたいそう思う」23.6%、あわせて33.3%に増加し、高校生世代になると「そう思う」8.1%、「だいたいそう思う」28.9%、あわせて37.0%になる。

Q 29 あなたは、自分は何をやってもだめだと思いますか

図103 【子ども—全体】

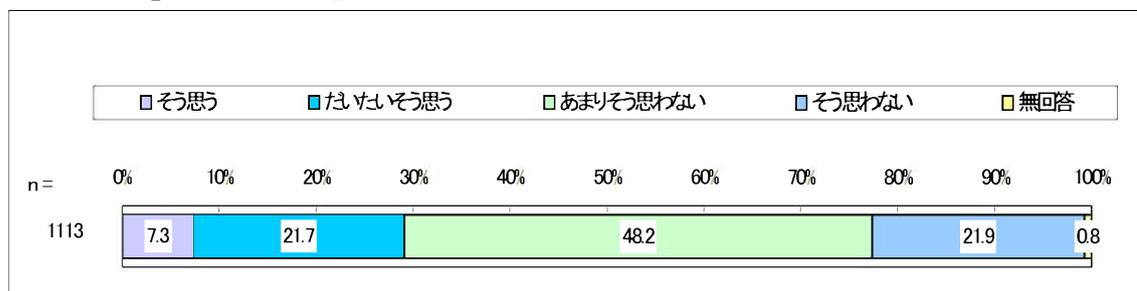
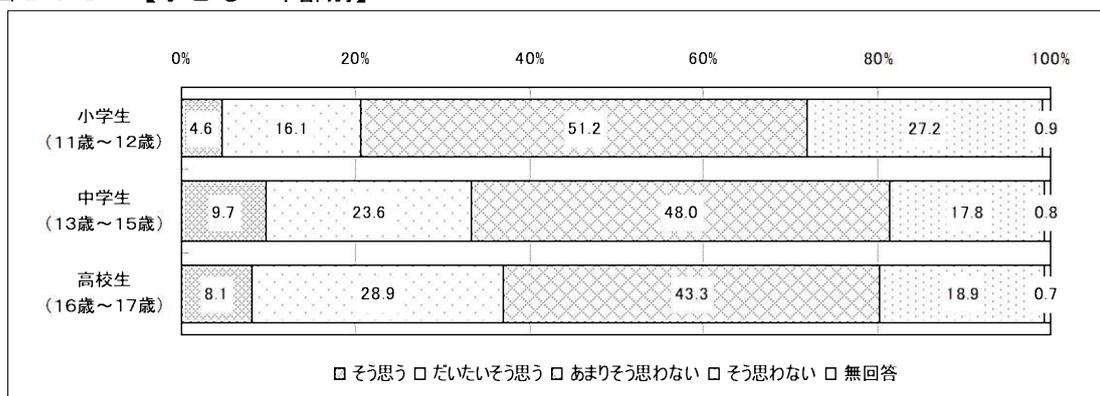


図104 【子ども—年齢別】



自分は親や周りのおとなから大切にされていると感じるかという問いに対して、子ども全体では「そう思う」54.9%、「だいたいそう思う」37.8%、あわせて92.7%が肯定的に回答している。

年齢別に見ると、すべての世代で「そう思う」「だいたいそう思う」という回答があわせて9割前後であったが、年齢があがるにしたがって「そう思う」「だいたいそう思う」という回答の割合が若干減少し、「あまりそう思わない」「そう思わない」の割合が増加する。特に、小学生世代では「あまりそう思わない」2.8%、「そう思わない」0.7%、あわせて3.5%が否定的な回答であるが、中学生世代になると「あまりそう思わない」5.2%、「そう思わない」2.1%、あわせて7.3%に微増する。さらに高校生世代になると「あまりそう思わない」7.4%、「そう思わない」2.2%、あわせて9.6%とさらに若干増加している。

Q 30 あなたは、自分は親や周りのおとなから大切にされていますか

図105 【子ども—全体】

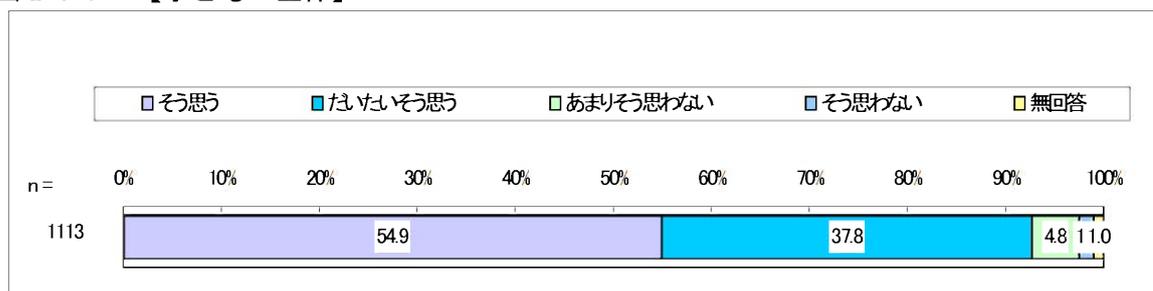
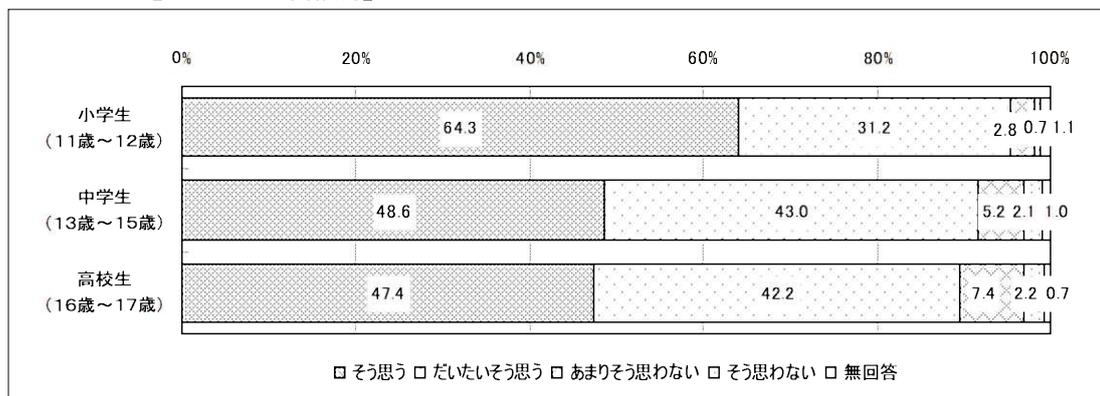


図106 【子ども—年齢別】



自分は友だちから大切にされていると感じるかという問いに対して、子ども全体では「そう思う」(41.7%)「だいたいそう思う」(47.0%)あわせて88.7%が肯定的な回答をしていた。

年齢別に見ると、小学生世代ではあわせて90.8%が肯定的な回答をしているが、年齢があがるにしたがって少しずつ減少し(中学生世代88.5%、高校生世代85.2%)、逆に「あまりそう思わない」「そう思わない」という否定的な回答が少しずつ増加する(小学生世代8.3%、中学生世代10.8%、高校生世代14.1%)。

Q31 あなたは、自分は友だちから大切にされていると感じますか

図107 【子ども—全体】

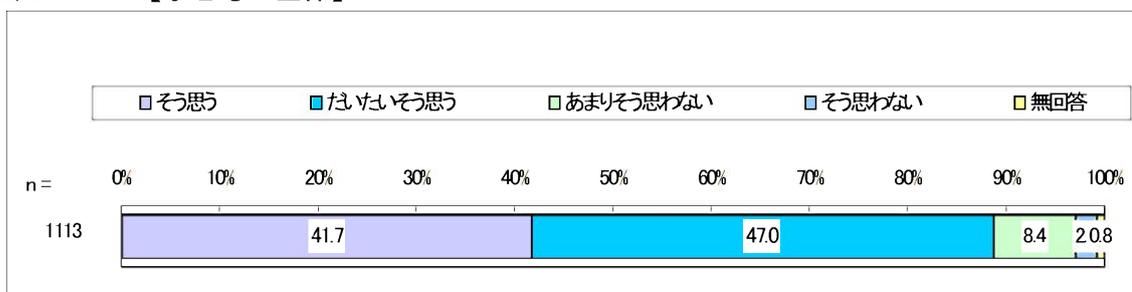
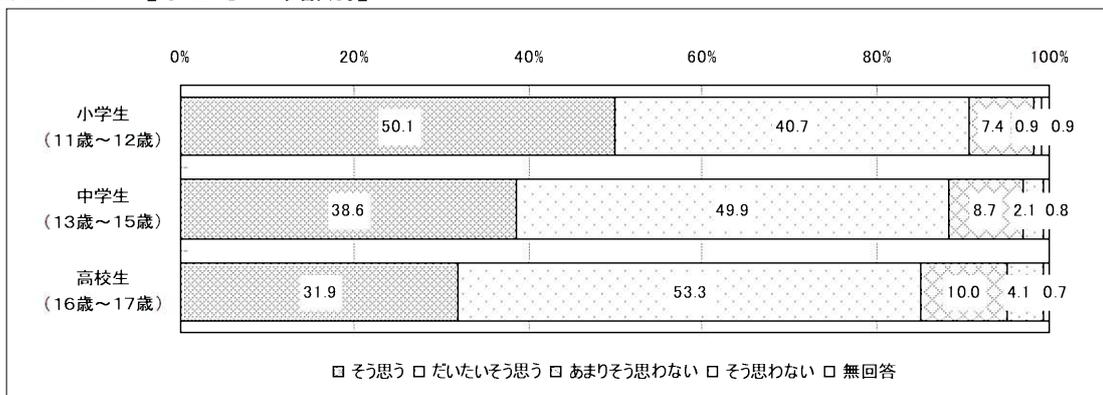


図108 【子ども—年齢別】



## ② 性差について

男女の違いで悩んだり嫌な思いをすることがあるかという問いに対して、子ども全体では「あまりない」22.3%、「ほとんどない」58.7%、あわせて81.0%が否定的な回答であった。

年齢別にみると、年齢があがるにしたがって「ない」という回答が減少し、「あまりない」という回答が増加する。

また性別でみると、「ある」「ときどきある」という回答は男女でほとんど差がなかったが、「あまりない」という回答は男子が18.9%、女子が25.2%で女子のほうが約6ポイント高く、「ない」という回答は男子が64.0%、女子が54.4%で男子の方が約10ポイント高かった。男女の違いによる悩みや嫌な思いをした経験のある子どもは、比較的男子より女子に見られた。

### Q26 あなたは、男女の違いで、悩んだりいやな思いをすることがありますか

図109 【子ども—全体】

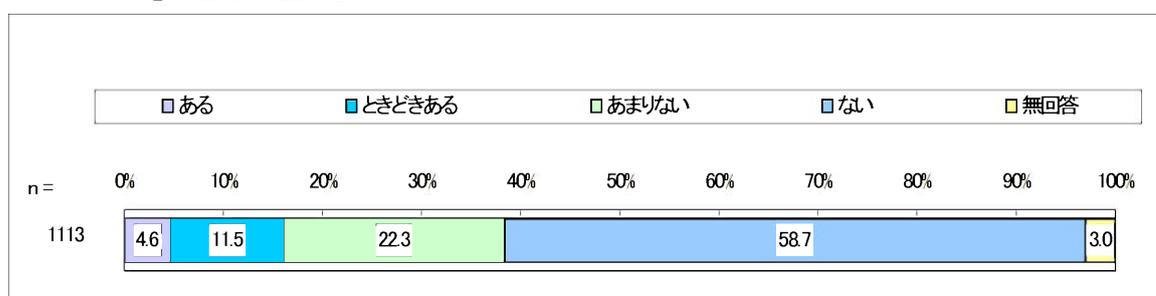


図110 【子ども—年齢別】

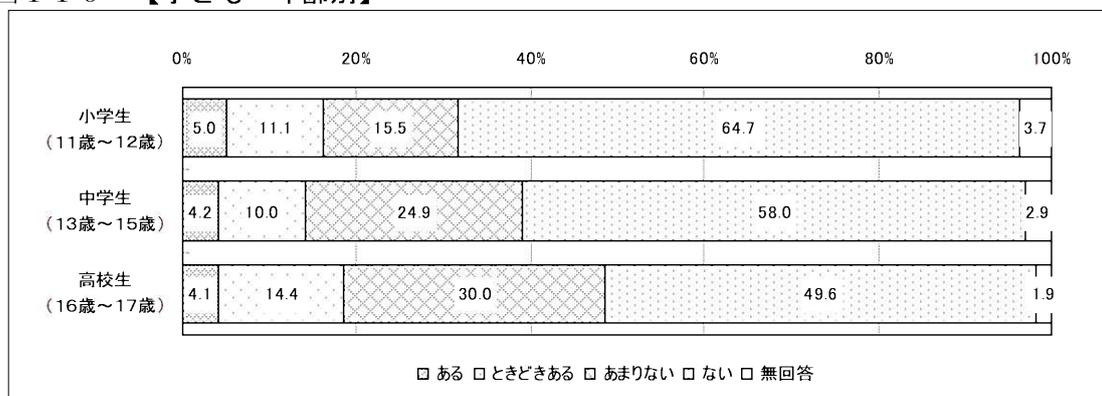
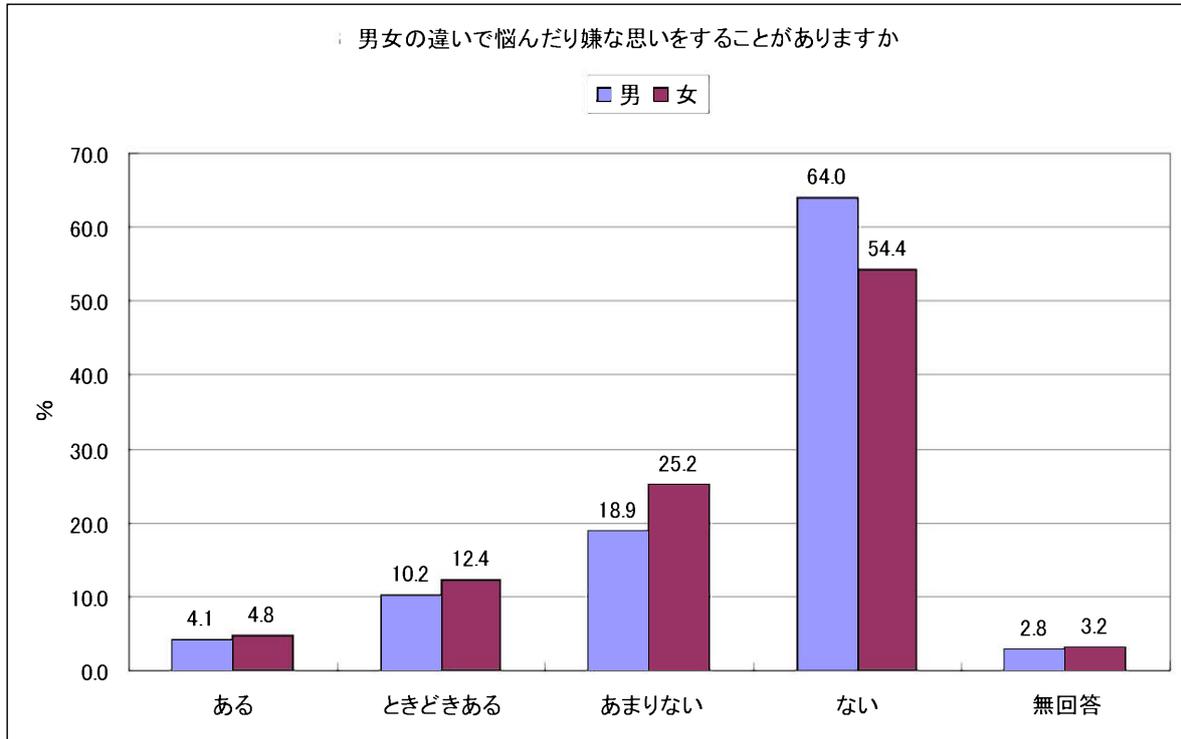


図111 【子ども—男女別】



### ③ 文化・国籍等の違いについて

文化・国籍等の違いに関わらず子どもは大切にされていると思うかという問いに対して、子ども全体では「そう思う」37.5%、「ときどきそう思う」34.1%をあわせて71.6%が肯定的な回答であった。

年齢別に見ると、小学生世代ではあわせて77.5%が肯定的な回答であるが、年齢があがるにしたがって減少し、中学生世代では70.1%、高校生世代では63.0%という結果であった。高校生世代では「あまりそう思わない」23.3%、「そう思わない」11.5%をあわせて34.8%が否定的な回答であった。

Q 2 7 あなたは、生活のなかで文化・国籍等のちがい、障害のあるなしにかかわらず、子どもは大切にされていると思いますか

図 1 1 2 【子ども—全体】

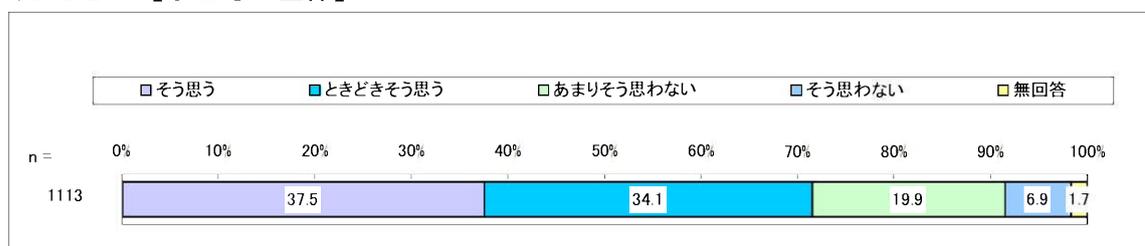
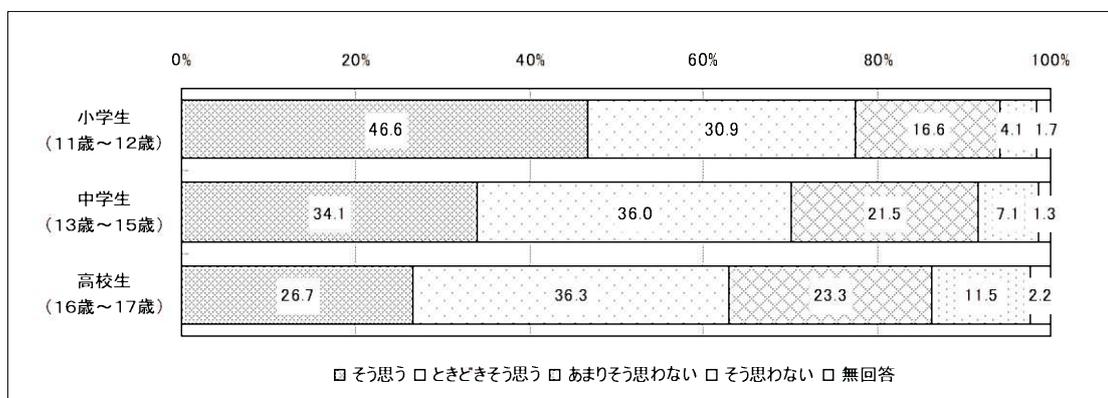


図 1 1 3 【子ども—年齢別】



### ④ 子どもの権利の中で、最も大切だと思うもの

子ども全体で最も多かった回答は、「安心して生きる権利」の68.1%であった。次に「ありのままの自分でいる権利」が42.9%であった。

年齢別に見ても、すべての年代において「安心して生きる権利」が最も高い回答であったが、特に小学生世代では73.2%と高かった。年代別に比較したとき、小学生世代よりも中・高校生世代で高い回答だったのは「ありのままの自分でいる権利」(小学生37.3%、中学生47.0%、高校生46.7%)、「自分で決める権利」(小学生18.7%、中学生23.9%、高校生24.8%)であった。逆に小学生世代の方が、中・高校生世代よりも高かった回答は「自分を守り、守られる権利」(小学生20.0%、中学生14.4%、高校生14.4%)であった。

Q 3 3 子どもの権利のなかで、自分にとってもっとも大切だと思うものは何ですか

図 1 1 4 【子ども—全体】

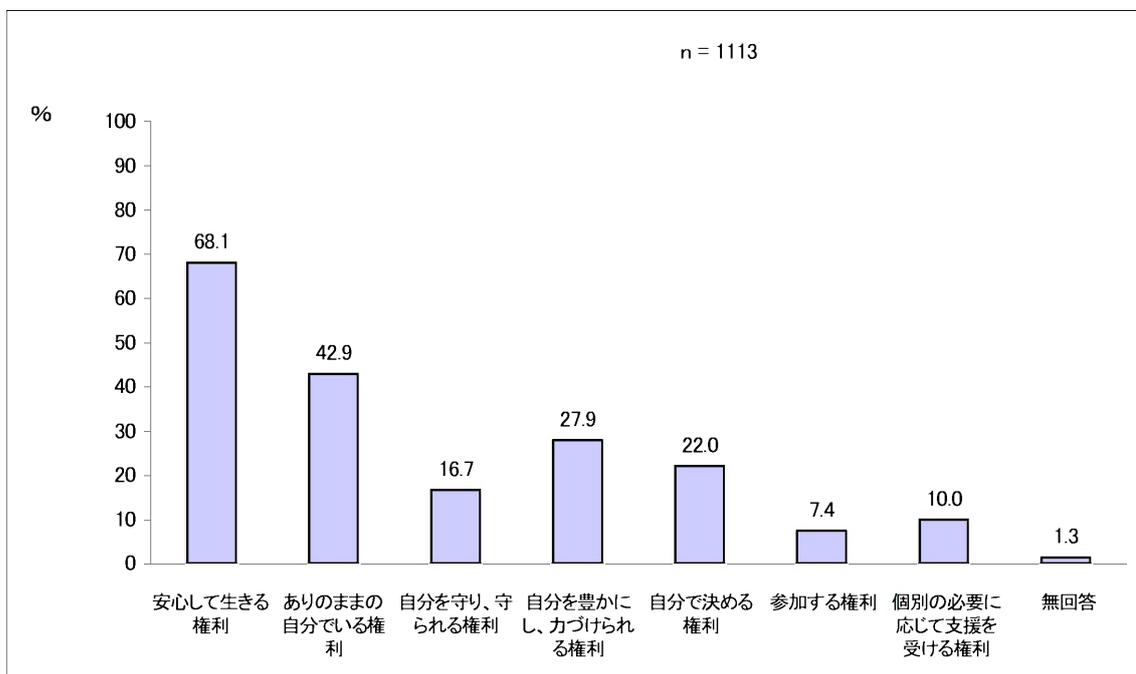
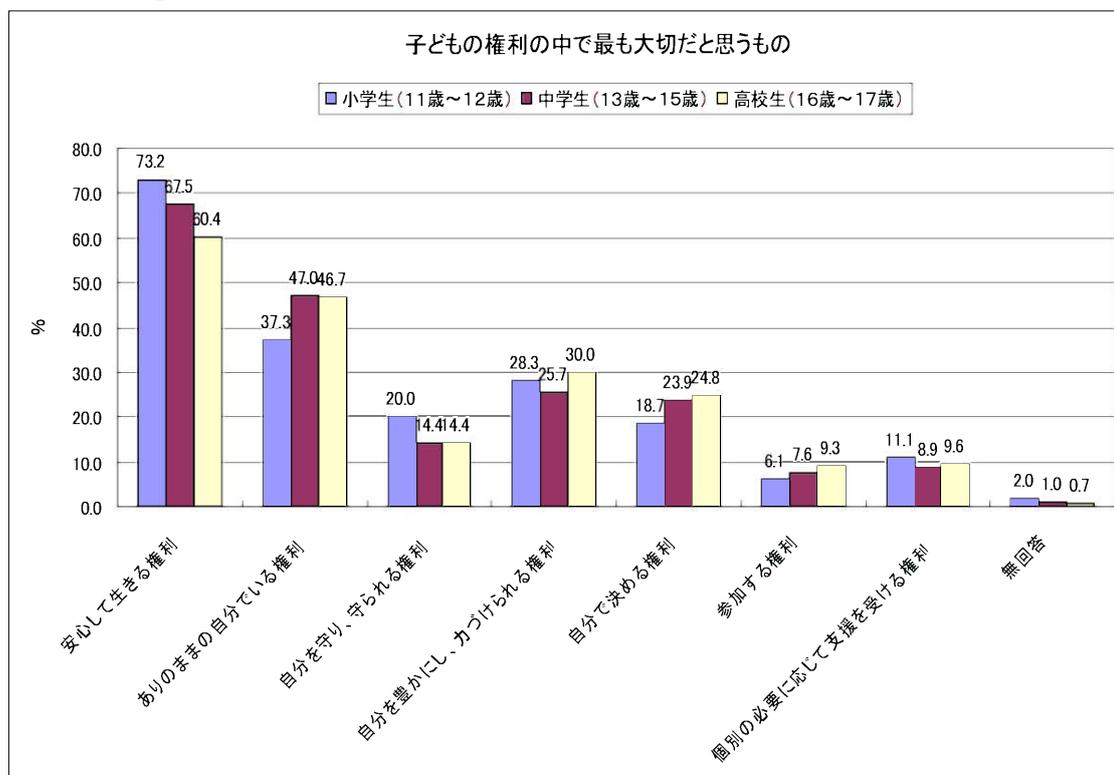


図 1 1 5 【子ども—年齢別】

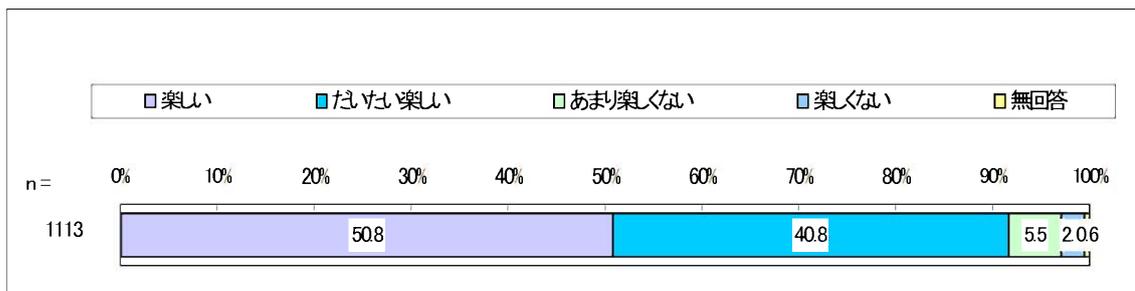


(5) 毎日が楽しいか

毎日が楽しいかという問いに対して、子ども全体では、「楽しい」50.8%、「だいたい楽しい」40.8%、あわせて91.6%が肯定的に回答している。

Q32 あなたは、毎日が楽しいですか

図116 【子ども—全体】



年齢別に見ると、小学生世代（11歳～12歳）では「楽しい」という回答が6割前後であるが、中学生世代（13歳～15歳）・高校生世代（16歳～17歳）になると「楽しい」という回答は半数を割り込んで徐々に減り、高校生世代では4割前後となる。かわって「あまり楽しくない」「楽しくない」という回答が増加する。全般的には、年齢があがるにしたがって肯定的な回答と否定的な回答の若干の増減が見られるものの、9割前後の子どもが「楽しい」「だいたい楽しい」と肯定的な回答をしている。

図117 【子ども—年齢別】

